

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	村上市養護老人ホームやまゆり荘	評価対象年度	令和 3 年度
指定管理者名	社会福祉法人 阿賀北福祉会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝 きくみ

①事業実績

利用実績	令和3年度当初入居者数 38名、途中入退所 入所5名、退所4名 年度末入所者 39名
サービス向上の取り組み	職員倫理、行動規範の周知徹底及び業務マニュアルの遵守に努めている。サービスに関して継続的に改善を図るとともに人事考課制度の活用や研修への積極的な参加により人材育成に力を入れサービス向上を図った。

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (R元年度)	前年度 (R2年度)	当該年度 (R3年度)	合計	備考
収入	指定管理料	106,483	106,483	106,483	319,449	基本協定額:541,634千円
	利用料金	616	362	400	1,378	短期宿泊事業収入
	自主事業収入					
	その他	314	1,884	30	2,228	R2:新型コロナ緊急包括支援交付金含む
	計	107,413	108,729	106,913	323,055	
支出	管理経費	105,479	104,908	104,092	314,479	
	(うち人件費)	58,158	56,511	56,800	171,469	
	(うち光熱水費)	8,021	7,595	7,496	23,112	
	(うち修繕費)	1,630	1,866	1,600	5,096	
	(うち委託料)	16,327	15,635	15,919	47,881	
	自主事業費					
計	105,479	104,908	104,092	314,479		
差引	1,934	3,821	2,821	8,576		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) 職員全体で統一した支援を心がけ、本人の要望や意見をできる限り尊重した支援の在り方や業務内容について検討しながら業務にあたるなど、利用者の人格を尊重し、利用者の立場に立った支援に努めている。虐待ケースなどを含む生活管理指導短期宿泊については、緊急な案件に対しても迅速に対応し、利用者の受け入れを行っている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	5	10.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	3	2.4	
(評価理由) 毎朝のミーティング、毎月の処遇会議やケース会議において情報共有を図り、利用者支援や施設内の課題について全体で対応策を検討しながら業務を行っている。また、利用者満足度調査を行い集計結果から不足している部分について具体的な改善策を検討しサービス向上を図っている。自主事業は新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施していない。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由) 会計事務所による2か月に1回の指導、助言を受け、適正な会計処理に努めた。また、経費節減に対する意識を職員全員で共有し、毎日の業務にあたっている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5	4.0
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 職員配置は、年間を通じて適正なサービス提供に必要な職員数を確保し運営している。計画的な研修を実施し、職員のスキルアップを図るとともに、人事考課を導入し業務への意欲の向上、意識改革、人材育成を図っている。また、避難訓練の計画的な実施、応急手当研修、感染等の拡散防止演習などを行い安心安全な施設管理に努めている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 防火設備は委託業者による点検に加え、毎月の自主点検を行い早期の修繕に努めている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、感染防止消耗品の購入の他、これらに合わせた既存マニュアルの改訂も行っている。				

④総合評価

評価点合計	84.8	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

入所者の高齢化などにより支援が必要な方が増えている中、職員全体で統一した支援を心がけ、本人の要望や意見をできる限り尊重した支援の在り方や業務内容について検討しながら業務にあたるなど、利用者の人格を尊重し、利用者の立場に立った支援に努めている。人事考課や研修をとおして職員の資質の向上を図っており、市との連絡・連携も適切に行われている。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、入所者の要望の把握や老朽化した施設の異常箇所早期発見に努め、入所者への良好な環境提供に努めていただきたい。また、生活管理指導短期宿泊については、虐待等緊急な案件が増えているが、今後も迅速な対応をお願いしたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。